

令和5年度広島県DX実践支援事業の実施について

1 要旨・目的

全県的なDXを推進するため、県内の民間事業者等によるDX実践を後押しする「令和5年度広島県DX実践支援事業」を実施する。

2 現状・背景

本県はこれまでDXの実践に向けた機運醸成や、「仕事・暮らし」、「地域社会」、「行政」の各分野においてDX関連施策を全庁的な取組として推進してきた。その結果、DXの必要性に対する理解は進みつつあるが、実際にはDXに取り組めていない民間事業者等がまだ多いのが現状である。

こうした現状を踏まえ、民間事業者等がこれまで以上に自律的・持続的に推進する「全県的な取組」へと加速するために、令和4年11月に「広島県DX加速プラン（以下「プラン」という。）」を策定した。

3 概要

(1) 対象者

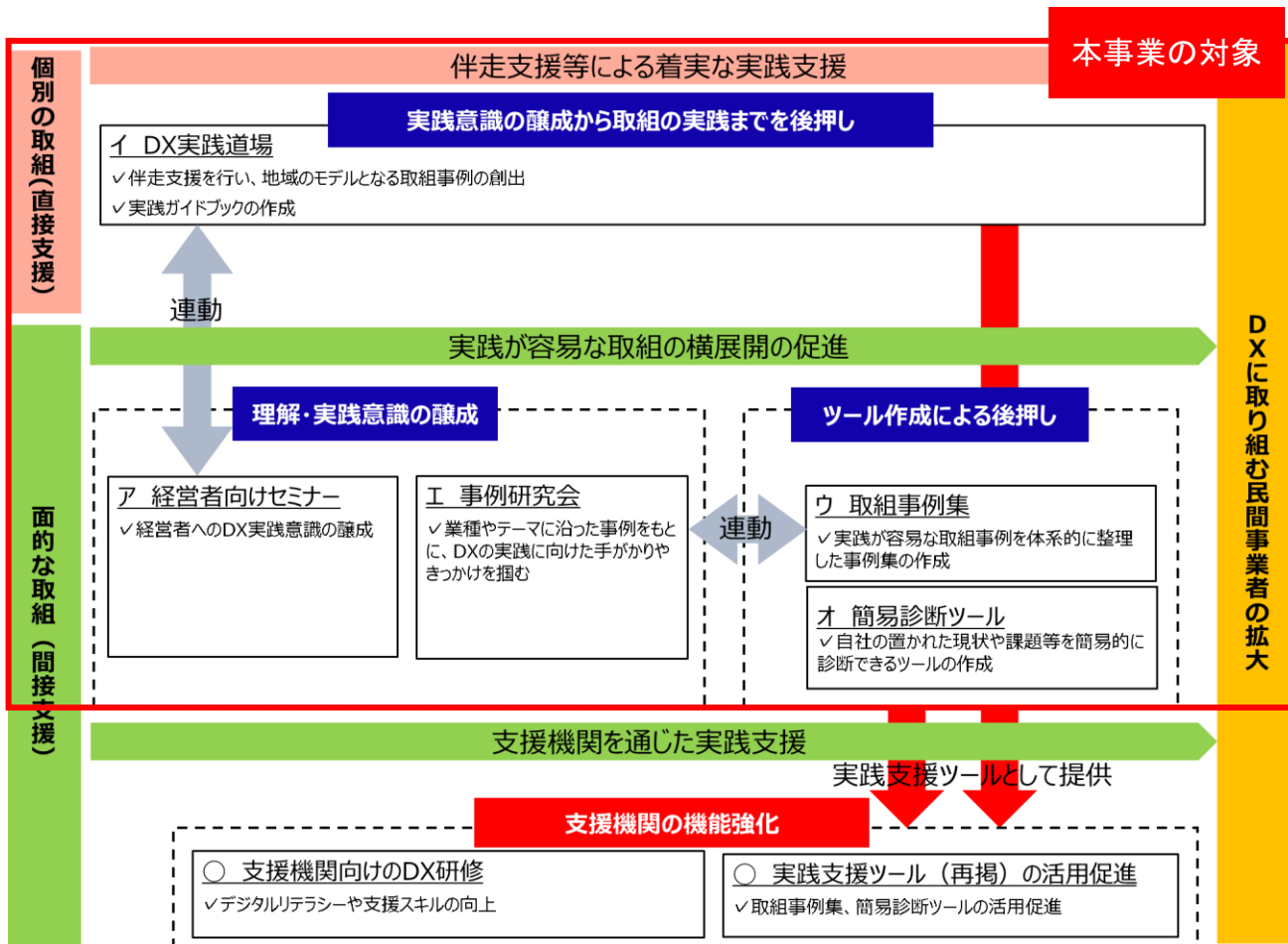
主にDXの必要性を感じているが実際に取り組めていない県内の民間事業者等（DX共感・未着手層）

(2) 実施内容

本事業は、プランに基づき、「伴走支援等による着実な実践を促す取組」と「実践が容易な取組の横展開の促進に向けた取組」の両面のアプローチを行い、民間事業者等によるDXの実践を後押しする。

また、これらの取組を通じて、地域の支援機関（商工会や商工会議所、金融機関、税理士、中小企業診断士など、経営支援に携わっている者。以下同じ。）における支援機能の強化を図り、より多くの事業者を継続的・自律的に支えられる体制の構築を目指す。

取組	概要
ア 経営者向けセミナー	✓経営者へのDXの実践意識の醸成
イ DX実践道場	✓伴走支援を通じたモデル事例の創出
ウ 取組事例集	✓実践が容易な取組事例を体系的に見える化
エ 事例研究会	✓業種やテーマに沿った事例をもとに、DXの実践に向けた手がかりやきっかけの提供
オ 簡易診断ツール	✓自社の課題や課題解決に向けた支援策等を簡易的に診断



ア 経営者向けセミナー

民間事業者等がDXに取り組むにあたっては、経営者層がデジタル技術やデータの利活用を理解し、リーダーシップを発揮することが重要であるため、経営者層を対象に、DXの事例を交えて、経営者の役割や社員の巻き込み方等を学ぶセミナーを開催する。

項目	内容
日時	7月11日（火）14時00分～16時30分
場所	広島国際会議場 会議室「ダリア」／オンライン「WebEx」
実施内容	<p>○経営者特別講演① <small>あおのよしひさ</small> サイボウズ株式会社／青野慶久代表取締役社長（オンライン出演）</p> <p>○経営者特別講演② <small>あまのしんや</small> 株式会社FAプロダクツ／天野真也代表取締役会長</p> <p>○パネルディスカッション サイボウズ株式会社／青野慶久代表取締役社長 株式会社FAプロダクツ／天野真也代表取締役会長 広島県／湯崎英彦 ≪ファシリテーター≫ 株式会社デジタルトランスフォーメーション研究所 <small>あらせみつひろ</small>／荒瀬光宏代表取締役</p> <p>○ITツール無料体験会</p>
参加者	208名（現地会場とオンラインの合計）

※第2回セミナー（令和6年3月開催予定）は、DX実践道場の成果発表会や、知事と登壇者によるパネルディスカッションを企画し、取組の裾野拡大やステップアップにつながる機会を提供

イ DX実践道場

モデルケースを創出するため、課題整理から取組の実践に至るまでを一気通貫で伴走支援し、DXの実践につなげる。

また、こうした取組を地域の支援機関と連携して行うことにより、各地域で自律的かつ継続的にDXが実践できる環境の構築を目指す。

項目	内容
対象者	次の①～③に該当する県内の中小・小規模事業者（全40者程度） ①DXにまだ取り組めていない者 ②DXに着手したが、上手くいっていない者 ③DXの更なるステップアップにチャレンジしたい者
課題	○バックオフィス系業務（勤怠管理、人事労務、経理財務、顧客管理など）の効率化・最適化（効果的な活用を含む） ○フロントオフィス系業務（予約受注、営業、問い合わせ対応、窓口受付など）の効率化・最適化（効果的な活用を含む） ○データを活用した業務全体の高度化・効率化 など ※特にDXにまだ取り組めていない者に対しては、無料で使えるビジネスチャットやプロジェクト管理ツールなどの活用から進めるなど、ITツールの利便性を実感（抵抗感を払しょく）できるスモールステップでの実践を促進
実施内容	<u>○デジタルリテラシー等の習得のための各種勉強会の実施</u> ・ITツール勉強会、補助金勉強会、DXビジョン策定・課題抽出・ロードマップ作成ワークショップ、ITツールハンズオン勉強会 <u>○課題整理からDX実践までの一連の伴走支援の実施</u> ・ITコンサルタント等の専門家に加えて、地域の支援機関が参画し、DX実行計画の策定等を支援する予定 <u>○成果発表会の実施</u> ・モデルケースとして広く展開するため、令和6年3月に行う第2回経営者セミナーにおいて各事業者が取組の成果を発表 <u>○実践ガイドブックの作成</u> ・実践道場を通じて得られた成果（失敗を含む）や課題をまとめたガイドブックを作成
参加者募集方法	次の①及び②の枠で募集 ①伴走支援を希望する民間事業者等を広く公募する「全県枠」 ②地域の支援機関が代表者となり、当該支援機関が活動する地域の民間事業者等と組成したコンソーシアムを公募する「特定地域枠」 ※特に②については、単に民間事業者等の伴走支援にとどまらず、地域の支援機関が伴走支援に参画するスキームを構築し、DXの実践支援に向けたノウハウやスキルの習得を促進
スケジュール（予定）	令和5年6月20日 道場参加事業者募集開始 8月9日 募集終了 9月中～下旬 実践道場開始（各種勉強会、伴走支援） 令和6年2月下旬 伴走支援終了 3月中～下旬 成果発表会の実施／実践ガイドブック完成

ウ 取組事例集

実践が容易な取組の導入促進（横展開）を図るため、全国を取組事例を収集し、体系的に見える化する事例集を作成する。

項目	内容
事例内容	県内の産業構造や、本県のDXの現状や課題を踏まえ、特に県内の中小・小規模事業者がDXに着手する際の参考やきっかけとなるよう、従業員規模や業種、課題／ソリューション等に区分けし、それぞれに対応した事例に見える化
収集事例数	100 事例
完成時期	令和5年9月目途

エ 事例研究会

上記ウの取組事例集等を題材に、DXに着手する際の参考やきっかけとなるよう、事例研究会を開催する。

項目	内容
実施内容	取組事例集に掲載された民間事業者等による取組紹介や、紹介した事例の解説や深掘りを実施するとともに、地域性や業種に特化した事例等を題材にグループディスカッションの実施 等
開催時期	令和5年10月～令和6年3月頃（6回開催）
実施会場	県西部、県東部、県北部

オ 簡易診断ツール

民間事業者等によるDXの実践を後押しするため、自社がDXを進める上での課題等を客観的に診断し、診断結果に応じて、解決策の提示や、国や県等が提供している補助金等の支援メニューに見える化するツールを作成する。

項目	内容
想定する 主な 利用者	県内の民間事業者等や支援機関が主な対象であり、例えば次の①や②のケースを想定 ①DXに取り組みたいが、実践できていない県内の民間事業者等のうち、特に次の課題感を抱える者 ・DXに取り組みたいが、何から取り組んだらよいか分からない ・DXに取り組むために自社が活用できる補助金などの情報を知りたい ②民間事業者等のDXの実践を支援する支援機関のうち、特に次の課題感を抱える者 ・民間事業者等から上記の相談を受けたが、どのようなITツールなどがあるか分からない（どのように支援したらよいか分からない）
基本的 機能要件	次のステップ①から③の基本的機能要件を満たすツールを作成予定 ①DXに取り組むにあたって、自社の現状や課題が把握できること ②上記①で把握した自社の現状や課題に対して、解決策（最適なITツール等）を提案するとともに、解決策の一般的な活用事例を紹介できること ③上記③で提案した解決策を実践するにあたって、活用できる国や県等が提供している補助金等の支援メニューが提案できること
公開時期/ 方法	令和5年10月目途／HP上で公開

(3) 予算（一部国庫）

86,570 千円

※うちデジタル田園都市国家構想交付金：34,045 千円

4 その他

○特設ポータルサイト：<https://dx-hiroshima.jp>（6月26日開設）

※各取組の詳細を順次公表

○広島県DX加速プラン：<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hiroshima-dx-torikumi/plan.html>